の花が見ごろ

五泉市

見立
意の

増田嘉美

、3㌶の畑一面に15本のチューリップが咲ろう。同市は県内でものチューリップの球根地で、栽培・出荷する

プまつり（4月中旬から）り（5月初旬から）開催

ボタンの開花時期に合わせて花木まつりが開催される。同公園内にあるぼたん百種展示園では、120品種5千本のボタンが色とりどりの花を咲かせ、訪れる人の心を和ませてくれる。

だけでなく、多くの人に見てもらおうと、チューリップを一本杉地内の1か所に集めてまつりを毎年開いている。期間中はチューリップの抜き取り販売やプランターの販売が行われる。

また同市東公園では昨年のチューリップまつり

同市のボタンは苗木の生産量、出荷量ともに全国の2大産地に数えられる特産品。まつり期間中は、ボタンの鉢植えが販売される。また、イベント日を中心として、花木の苗木、各種農産物や軽食の販売などが行われる他、同市が全国有数のニット産地でもあることから、ニット製品の販売も行われる。

（五泉市農業委員会）

新潟県支局
新潟県農業会議
新潟市中央区東中通1番町86番地
JAバンク新潟県信連第2分室内
025(223)2186

約50㌶の水田を耕作する経営をスタート。地域農業の担い手としての役割が期待されている。

あおぞら農産は1990年に圃場（ほじょう）整備事業を契機に麦の集団転作に取り組むため任意の組織として発足。その後は大豆の集団転

ここ数年で経営移譲の時期を迎えることから、個人経営のまま経営移譲を受けた人が数年後に、また他者に経営移譲するとなると、農地の貸主も不安を感じると考え、貸主が安心して農地を任せられる方法として法人化を検討。昨年から準備

担

農

南魚沼市

南魚沼市農業委員会（山口秀二会長）は認定農業者との意見交換会を2月25日、同市坂戸のサンライズ南魚沼で開催した。

山口会長はあいさつの中で「人・農地プランの検討が始まるが、担い手は認定農業者が中心になることは確かなこと。農業委員会は振興や賃借料などについて説明があった。

県農業会議では、農地を守り担い手を育てるために取り組む「にいがた地域農業再生運動」の中で「農業者との意見交換会」の実施を全農業委員会に呼びかけている。

田畑診断 再生探る

長岡市

小林薫社長

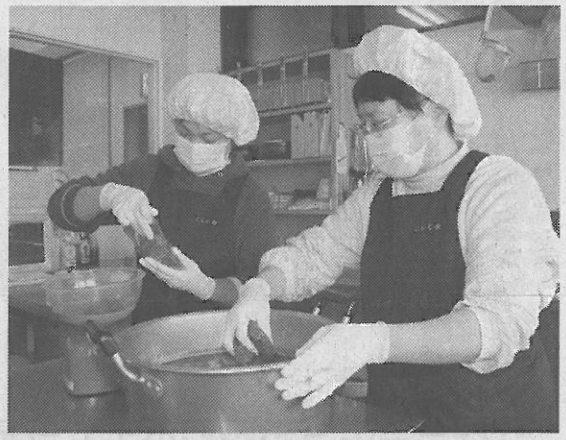
長岡市岩田（旧越路町）の農業生産法人・㈱たべたがり（小林薫社長）は、減農薬で栽培した野菜やコンニャク・漬物などの加工品を市内のスーパーマーケットのインショップ、同社が運営する同市塚山の道の寄り処（どころ）「こしじ縁」で販売している。

インショップには地域の高齢者が出荷した野菜が並んでおり、店内からは「子

農業生産法人・㈱たべたがり

非効率な山間農地を活用

野菜栽培・加工品で地域に貢献



どもや孫のために作った自家用野菜が店に並ぶと張り合いが出る」という声が聞こえる。

たべたがりでは、畑は山間地の小面積の農地60㌃を借り受けている。小林社長（40）は「高齢化の中で非効率的と言われ、耕作放棄されていく畑の受け手となって、商社の感覚をもって守っていきたい」と語る。

同社は長岡市

加工品の中でも、手づくりコンニャクは好調な売れ行きを続けている

効率的と言われ、耕作放棄されていく畑の受け手となって、商社の感覚をもって守っていきたい」と語る。

同社は長岡市

たべたがりでは、畑は山を中心に、事務用品やOA機器などを扱う㈱コバックスの関連会社。コバックスが2009年に参入した農業部門を昨年独立させた。

道の寄り処「こしじ縁」では地場産の食材を使った食事も提供している。前の管理業者が撤退した後、「越路の観光にとって大切な場所」と昨年5月に赤字覚悟で引き受けた。少しでも赤字を減らしたいとあえて冬場は閉店している。その間は加工品に力を入れており、コンニャクは材料の芋を仕入れなければならないほど売れ行きは好調だ。

グループの経営理念は「お客様のための、地域のための、社会のための会社でありつづける」だ。小林社長は「お客様のために良い物を作り、高齢者とのかかわりで地域に貢献する。そして、社会貢献として障害者の就業体験を進めています」と地域と農業への思いを語った。